

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 34週 > 感染性胃腸炎 - 過去5年間の同時期に比べると定点当たり報告数がかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第34週の報告数は137例(うち有症者は84例)



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / ヘルパンギーナ



速報
P.6

無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス13型の分離状況、2002年 - 長崎県



海外感染症情報
P.7-8

台湾でのデング熱流行 / バングラデシュでの急性神経疾患の流行 - 更新 / ウエストナイルウイルス患者数累計 - 更新 / ブルンジでのコレラ流行 - 更新 / マダガスカルでのインフルエンザ - 更新



感染症の話
P.9

今週は休載です



読者のコーナー
P.10

7価肺炎球菌ワクチンについて



グラフ総覧(34週)
P.11-17



34週のデータ
P.18-25



発生動向総覧

第34週コメント 8月30日集計分

全数報告の感染症

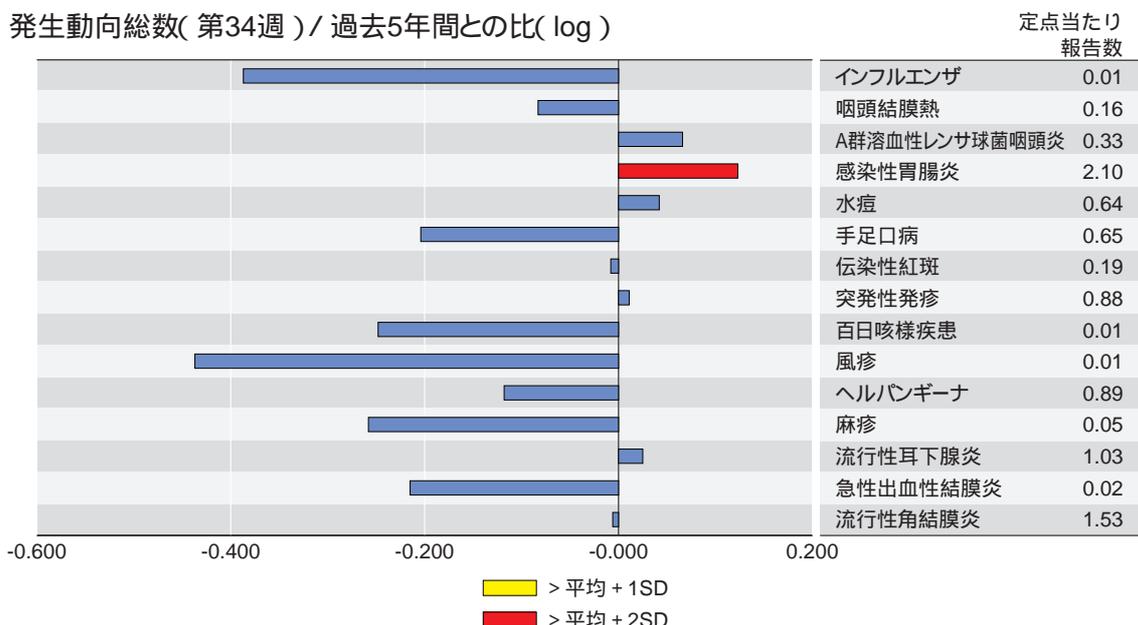
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ3例(推定感染地: 国内2例、ベトナム1例)、細菌性赤痢10例(推定感染地: 中国4例、国内2例、ネパール2例、ベトナム1例、不明1例)、腸チフス2例(推定感染地: タイ1例、不明1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症137例(うち有症者84例。栃木県のO157集団発生事例を含む)
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例(推定感染地: 国内2例、不明2例)、オウム病1例、ツツガムシ病1例、日本紅斑熱1例、破傷風1例(93歳)、ライム病1例、レジオネラ症8例(宮崎県の温泉集団発生事例を含む)
 - 急性ウイルス性肝炎4例
 - A型2例
 - B型2例(感染経路: 性的接触1例、不明1例)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群7例(すべて無症候性)
 - 感染経路: 性的接触6例(異性間2例、同性間4例)
 - 不明1例
 - 梅毒3例(早期顕症1例、無症候性2例)
 - マラリア2例(ともに三日熱マラリア) 推定感染地: パプアニューギニア1例、フィリピン1例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎は報告が少なくなっている時期であるが、過去5年間の同時期に比べると定点当たり報告数が増え、都道府県別では宮崎県(5.4)、鳥取県(5.0)、福井県(4.9)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は4週連続して減少し、1999年から2001年の平均の報告数の2倍を割った。都道府県別では岡山県(2.0)からの報告が多い。マイコプラズマ肺炎は微増減を繰り返しつつ増加し、今週の定点当たり報告数は、1999年から2001年の平均の約2倍となった。都道府県別では、5週連続して新潟県(0.9)が他県よりやや多い傾向がある。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいない。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎の定点当たり報告数は今週は増加に転じ、都道府県別で前者が宮崎県(3.1)と岩手県(3.0)からの報告が多く、後者は群馬県(8.9)からの報告数が多い。水痘と手足口病は引き続き減少を続けているが、都道府県別では、前者で鳥取県(2.4)が依然としてわずかに他県より報告数が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は夏のピークを超え減少しており、定点当たり報告数が3.0を超える県はなくなった。咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、定点当たりの報告数が佐賀県で(前者が0.7、後者が1.0)他県に比べやや多くなっている。百日咳と風疹は、引き続き定点当たり報告数が非常に少ない状況である。

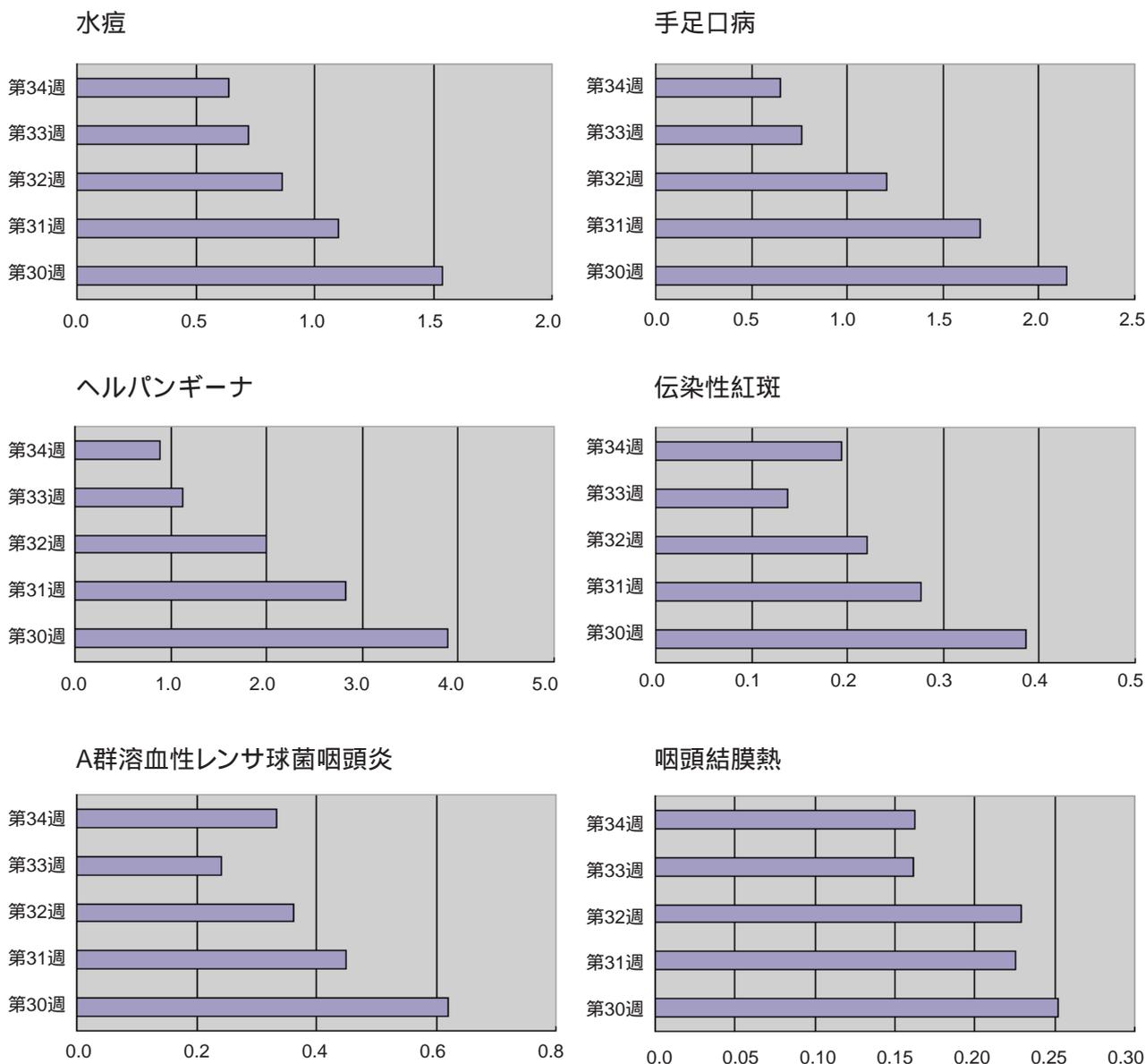
発生動向総数(第34週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患－5週間の動き

水痘、手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週に比べて減少している。伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱の報告数は前週に比べて増加している。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

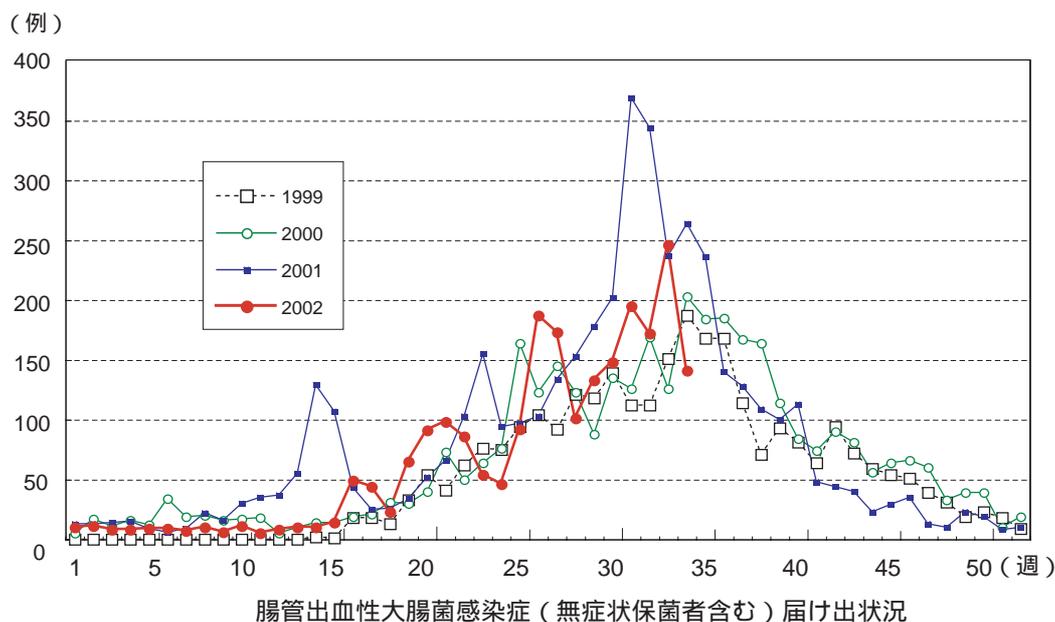
腸管出血性大腸菌感染症

2002年第34週の報告数は137例で(昨年同時期は229例) 性別では男64例、女73例である。うち有症者は84例であり、報告者全体の61%であった。都道府県別では多い順に東京都13例、栃木県11例、埼玉県・神奈川県・佐賀県・愛知県・兵庫県ともに8例などであった。5歳毎の年齢階級別にみると0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い) 1～4歳30例、10～14歳15例、5～9歳14例と、1～4歳の報告数が多かった。これは保育所、幼稚園関連の症例が多かったためと思われる。

血清型についてはO157が104例、O26が12例、O111が9例であり、O157の報告が多くを占めた。血清型とベロ毒素の型の組み合わせでは、多い順にO157/VT1+2が66例、O157/VT2が24例、O26/VT1が10例などとなっている。

2002年の第34週までの累積報告数は2,253例(昨年同時期は3,061例) となっており、昨年よりは少ないものの、集団発生の報告は依然として続いているので注意を要する。

累積報告数を都道府県別にみた場合、報告が多い順に福岡県191例、佐賀県160例、大阪府159例、兵庫県153例、栃木県146例などとなっている。また、累積報告数を5歳毎の年齢階級別にみると0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い) 1～4歳548例、5～9歳324例、20～24歳195例の順に多い。





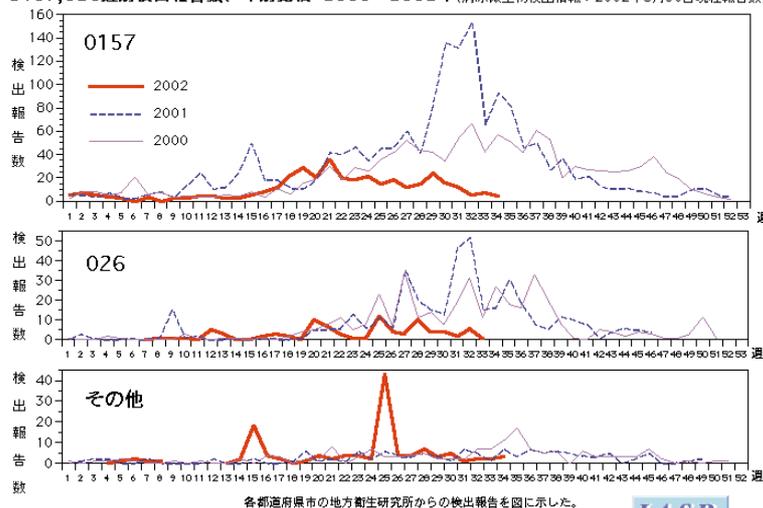
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年8月30日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

検出総数は566件で、うちO157が358件(大阪府82、兵庫県36、佐賀県28など)、O26が86件(佐賀県17、富山県10、石川県9など)、O111が64件(佐賀県52など)、O121が27件(佐賀県23など)、その他の血清型が31件である。最近では、第33週にO157が7件(山形県6、尼崎市1)、O26が1件(山形県)、O8が1件(秋田県)、O103が1件(秋田県)、第34週にO157が4件(山形県4)、O103が2件(秋田県2)、O91が1件(秋田県)の分離が報告されている。

O157, O26週別検出報告数、年別比較 2000～2002年(病原微生物検出情報: 2002年8月30日現在報告数)

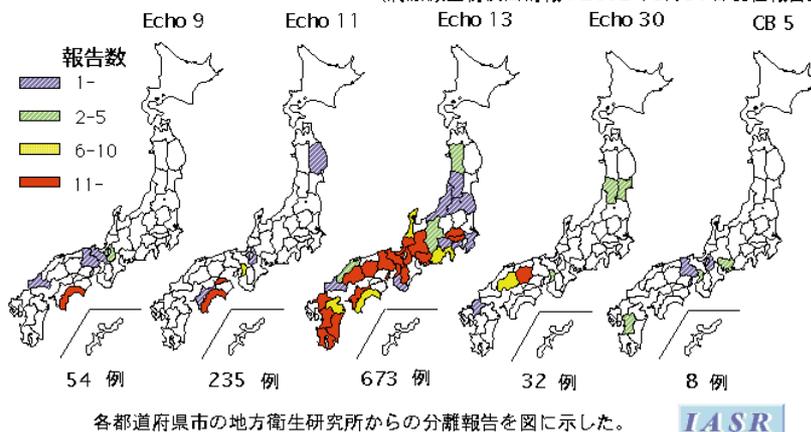


IASR
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス(E)1,009件(13型673、11型235、9型54、30型32、6型8、14型3、18型3、16型1)、ムンプスウイルス38件、B群コクサッキーウイルス18件(5型8、2型6、4型3、3型1)、A群コクサッキーウイルス3件(4型2、5型1)の分離が報告されている。E13の分離数は依然増加しており、現在までに九州から東北にかけて32都府県(広島県170、大阪府73、福井県64など)で分離されている。E11はほとんどが香川県(211)からの報告である。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出状況、2002年
(病原微生物検出情報: 2002年8月30日現在報告数)



IASR
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2002年

A群コクサッキーウイルス106件(4型64、6型27、10型8、5型3、8型2、16型2)、エコーウイルス20件(13型14、6型3、9型3)、B群コクサッキーウイルス2件(2型1、4型1)の分離が報告されている。



無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス13型の分離状況、 2002年 - 長崎県

長崎県では2002年4月より無菌性髄膜炎患者の検体が搬入され始め、6月に入り急増している。7月31日現在で75検体(67例)が搬入され、そのうち19検体(17例)からエコーウイルス13型(E13)が分離された。現在も数十件の分離ウイルスについて同定を継続中である。以下にその概要を示す。

ウイルス分離はRD-18S細胞、HEp-2細胞、Vero細胞を用いて実施した。特にRD-18S細胞では、明瞭なエンテロウイルス様のCPE(細胞変性効果)が認められた。分離ウイルスの同定に際しては、デンカ生研のE13単味抗血清20単位を用いて容易に中和された。また、HEp-2細胞を用いた場合9検体にCPEが認められたが、この細胞を用いての同定は困難であり、RD-18S細胞を用いてE13と同定できた。

E13症例の臨床診断別症例数は、無菌性髄膜炎19例、急性脳症1例、咽頭結膜熱1例であり、検体別の同ウイルス分離状況は、髄液17株、咽頭ぬぐい液3株、尿1株であった。

年齢別の症例数は21症例中0歳児6例、2歳児なし、3歳児1例、4歳児3例、5歳児4例、7歳児4例、9歳児2例、11歳児1例であり、5歳児以下が67%(14例)を占め、性別では男性17例、女性4例で、圧倒的に男性が多かった。

なお、本県における無菌性髄膜炎の患者は増加傾向にあり、今後の発生状況等に十分注意が必要である。

長崎県衛生公害研究所

平野 学 中村まき子 原 健志 野口英太郎

(IASR2002年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

台湾でのデング熱流行

Department of Health, Taiwan 2002年8月20日

台湾の疾病対策センター(Center for Disease Control)は、現地で発生したデング熱患者1,042名とデング熱輸入例29名を報告した。また、高雄地方でデング出血熱患者20名が報告された(高雄市10名、高雄県10名)。

今年のデング熱の流行は主に高雄地方で発生し、高雄市で512名、高雄県で505名の患者が報告された。しかしながら、8月から台湾の他の地区から散発的な患者発生が報告された。患者発生が報告された地区は、台北市2名、台北県1名、桃園県1名、新竹市1名、台中県1名、台中市1名、台南県1名、台南市1名、嘉義県1名、屏東県12名、花蓮12名、澎湖1名であった。感染の原因が特定できない台北市と台北県の各1名を除く全例が、高雄を訪れているときに感染した。

疾病対策センターは地方保健局に対し、蚊と蚊の繁殖場所を根絶することに加えて、患者が報告された地域では1週間以内に予防活動と疫学調査を実施するよう指示した。これに加えて、この散発例から流行が発生しないよう、患者が発生した地域の監視活動が4週間続けられる。

バングラデシュでの急性神経疾患の流行 - 更新

WHO/CSR 2002年8月30日

バングラデシュ政府はWHOに対して、2001年4月から5月にバングラデシュのMeherpurで発生した重篤な脳炎の流行の予備検査の結果を通知した。WHOの協力機関である米国CDCで行われた患者の血清検査の結果、病因がニパウイルス、またはその近縁ウイルスである可能性が示唆された。

ウエストナイルウイルス患者数累計 - 更新

情報源: CDC 2002年9月1日現在

州	検査陽性症例数	死亡	州	検査陽性症例数	死亡
アラバマ	13		ミネソタ	2	
アーカンソー	3		ミシシッピ	104	3
コネチカット	1		ミズーリ	27	1
ワシントンD.C.	1		ネブラスカ	4	1
フロリダ	1		ニューヨーク	5	1
ジョージア	6	2	ノースダコタ	3	
イリノイ	122	7	オハイオ	35	4
インディアナ	10		オクラホマ	2	
アイオワ	1		サウスカロライナ	1	
ケンタッキー	6	1	サウスダコタ	5	
ルイジアナ	205	8	テネシー	5	
メリーランド	2		テキサス	43	1
マサチューセッツ	1		バージニア	3	
ミシガン	21	2	ウィスコンシン	6	
合計				638	31

Health Canada 2002年8月30日

カナダ、オンタリオ州Mississauga南部の住民2名が予備的検査にて、ウエストナイルウイルス感染疑い(probable)患者であることが示された。

ウエストナイルウイルス最新情報

<http://www.cdc.gov/od/oc/media/wnupdate.htm>

ブルンジでのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2002年8月29日

8月29日現在保健省は、2002年6月17日に始まったコレラの流行により、Bujumburaで8名の死亡者を含む591名の患者(致命率1.35%)を報告した。また保健省は、Bubanza州において7月5 ~ 30日に3名の死亡者を含む46名の患者(致命率6.52%)を、Cibitoke州において7月2日から8月11日に2名の死亡者を含む157名の患者(致命率1.27%)を報告した。

国連人道支援調整局(The United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs)は、対応を調整するために保健省および非政府組織に協力している。

マダガスカルでのインフルエンザ - 更新

WHO/CSR 2002年8月28日、8月30日

流行はマダガスカルの6州のうち5州に拡大した。流行が起きていないのは同国北東部に位置するAntsiranana州である。Global Outbreak Alert and Response Networkの国際チームは保健省の移動チームとともに、患者調査と検体採取活動を行っている。2002年8月初めから、さらにインフルエンザA(H3N2)ウイルスが複数の州で患者から分離された。

英国ロンドンにあるインフルエンザに関するWHO委託研究共同センターとマダガスカル(国立インフルエンザセンター)のパスツール研究所による分析では、流行しているインフルエンザウイルスは、数年間北半球や南半球を循環しているA(H3N2)ウイルス(A/Panama/2007/99(H3N2))と類似していることが示された。マダガスカルで循環しているこのウイルスは、現在のインフルエンザワクチン、また、北半球における今後のインフルエンザシーズンのためのワクチンに含まれるものと類似している。それゆえ、これらのワクチンはこのウイルスによる感染防御を成立させることができる。

保健省を支援しているGlobal Outbreak Alert and Response Networkの国際チームは、8月29日、調査結果の予備段階での報告と保健省への勧告を提供した。

要約 : Fianarantsoa州の高地の住民に流行したインフルエンザは、A/Panama/2007/97(H3N2)様ウイルスが原因であった。この株は、2001年から2002年に世界中でのインフルエンザ流行に関係したものと同じである。同州で最も流行が深刻な地域はIkongo地区である。これまでと比較して死亡の増加が見られたのは、感染が広範囲にわたったため、インフルエンザウイルス株の病原性が特に強いためではないと思われる。死亡者の大部分は医療施設外で発生し、小さい子供に高率に見られた。Antananarivoで報告されてきたインフルエンザの季節的な流行は冬ごとにFianarantsoa州の高地地区にも影響を与えてきたと思われ、このことが高い罹患率や致命率をもたらした。

勧告した内容は、インフルエンザ定点観測システムを拡大し、インフルエンザ様疾患に対して診断基準を作成する、患者治療の改善と医療従事者への教育を実施する、リスクのある人(小児、高齢者、慢性疾患がある人など)が急性の呼吸器疾患に罹患したならば医療機関を受診する必要があること、インフルエンザについての情報を一般の人々に知らせるために保健教育活動を提供すること、などである。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

Q: 2000年11月1日号の日本医師会雑誌「特集ワクチンの最前線」に次の様な記載があります。「日本の肺炎球菌ワクチンは23価ワクチンのために、2回目の接種時に局所反応が強く、1度接種すると有効期間は5年くらいあるが、2回目の接種には15年くらいの間隔をあけるべきである。世界の他の国では7価ワクチンであるので、このような問題は起こらない」。この状況は現時点でも変わっていないのでしょうか。また、日本でも7価ワクチンへ移行する動きはあるのでしょうか。テレビでの放映以降患者さんから相談されることが多くなっています。 (京都市臨床医Yさん)

7価肺炎球菌ワクチンについて

ご存じの通り、日本で認可されている肺炎球菌ワクチンは23価の多糖体ワクチンで、23種類の血清型の多糖体が含まれています。1血清型あたり25マイクログラムの多糖体が含まれており、非常に多くの抗原量が含まれたワクチンです。このワクチンは局所反応が強く、日本ではハイリスクグループ(脾摘患者、脾機能不全者、鎌状赤血球症、心・呼吸器系の慢性疾患患者、免疫抑制を受けている者)を対象にしています。また、日本ではその副反応の強さから、23価多糖体ワクチンの反復接種を認めておりません。

一回接種で5年間有効と記述した文献もありますが、ワクチンの効果、すなわち23種類の血清型全てに十分な免疫を付与できるかどうかは個人差による影響が大きいです。

最近米国では、7価の血清型(4、6B、9V、14、18C、19F、23F)の多糖体と不活化ジフテリアトキシン(Diphtheria CRM₁₉₇ Protein)を結合させたワクチンが実用化され、小児に使用されています。この結合型ワクチンは、肺炎球菌の多糖体も1血清型あたり2マイクログラムと少量ですみ、副反応も少なくなっています。この結合型ワクチンの最大の特徴は、2歳以下の小児に対しても十分な免疫を付与でき、ワクチンに含まれる型の肺炎球菌による髄膜炎などの重篤な感染予防に有効であるとされています。

なお、米国では、成人に対して現在も23価多糖体ワクチンが使用されており、つまり、米国では7価の結合型ワクチンに移行したのではなく、7価の結合型ワクチンを小児に対して新たに導入したというのが正しい理解です。この点をお間違えのないようお願い致します。よって日本でも、7価の結合型ワクチンについては、今後その効果や導入についての検討が必要との意見がありますが、現時点では具体化しておりません。

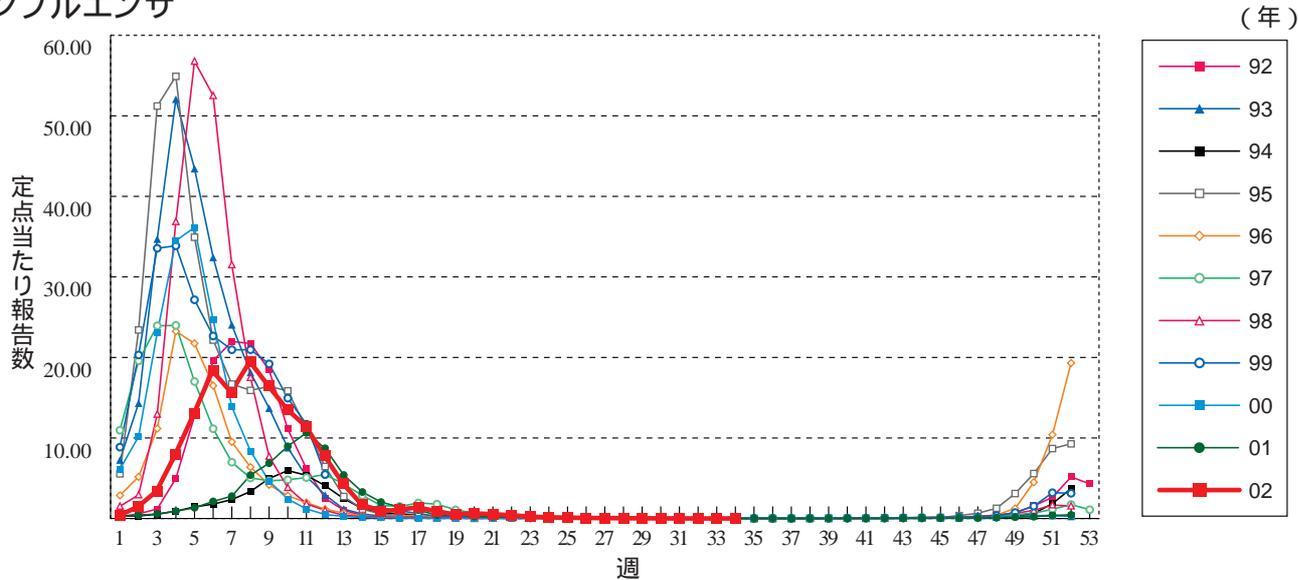
(国立感染症研究所感染症情報センター 新井 智)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

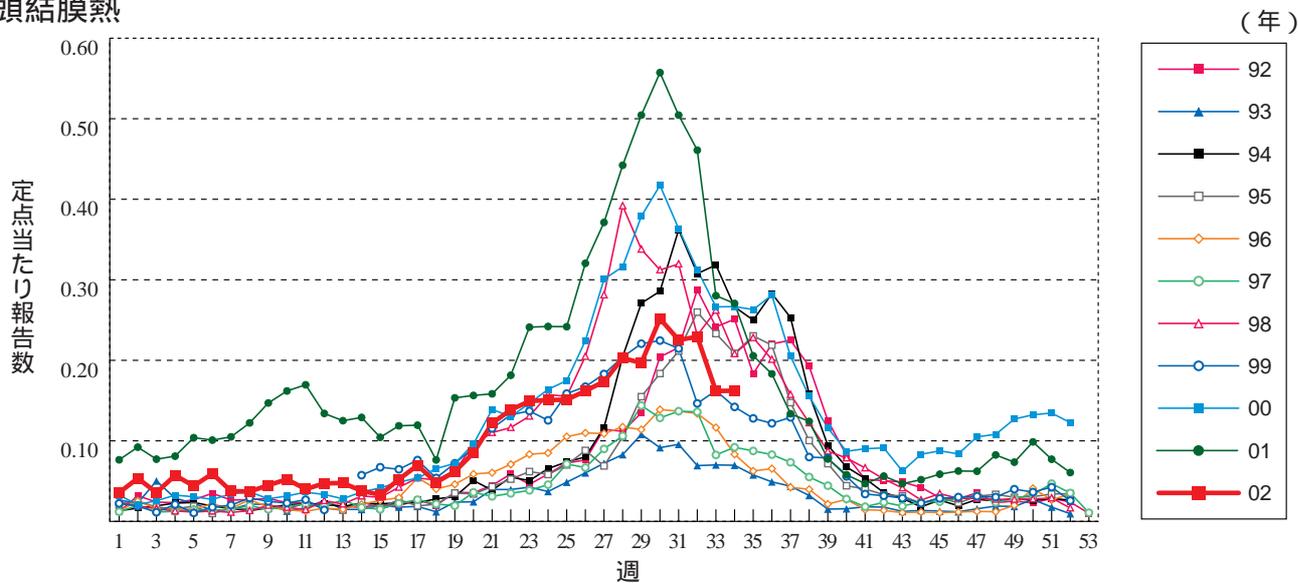
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(3 4 週)

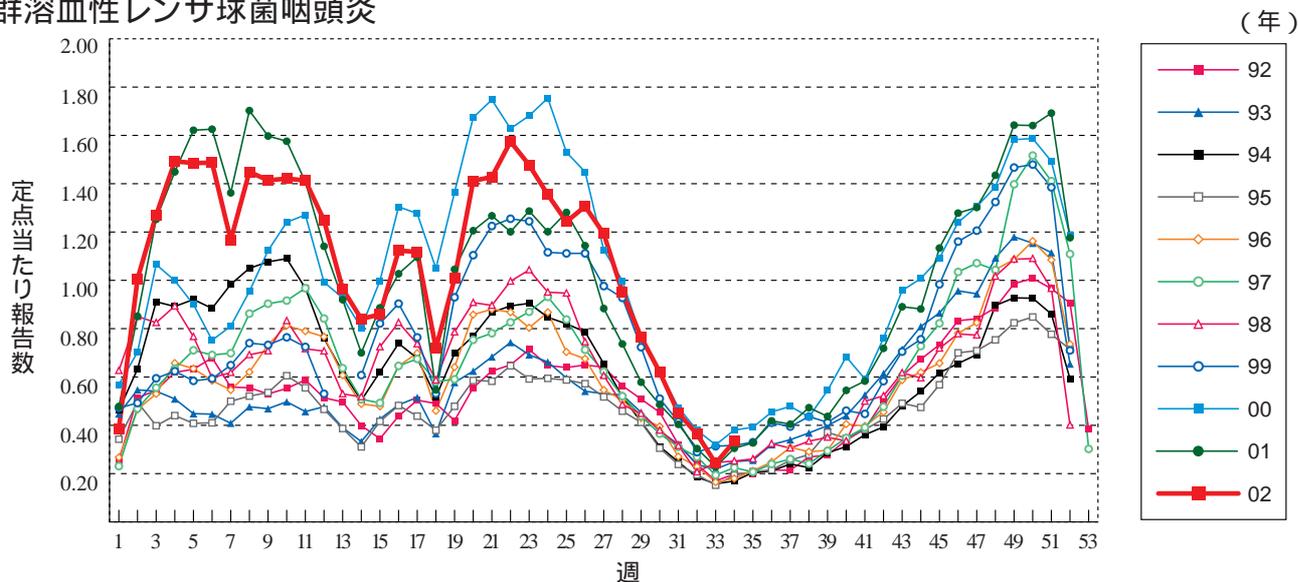
インフルエンザ



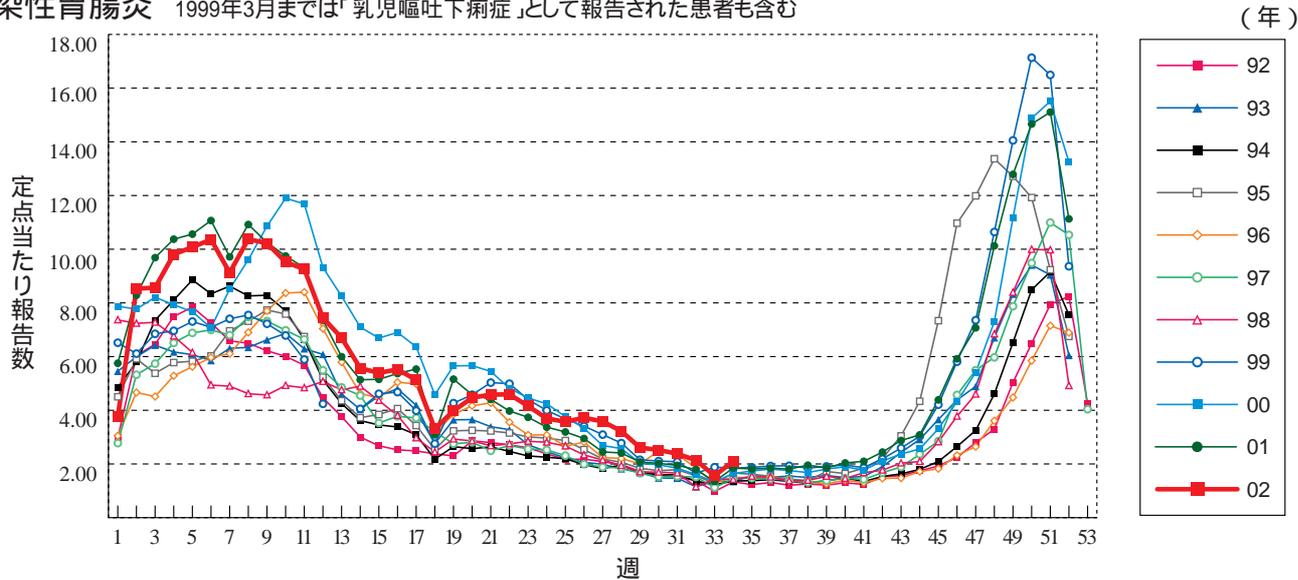
咽頭結膜熱



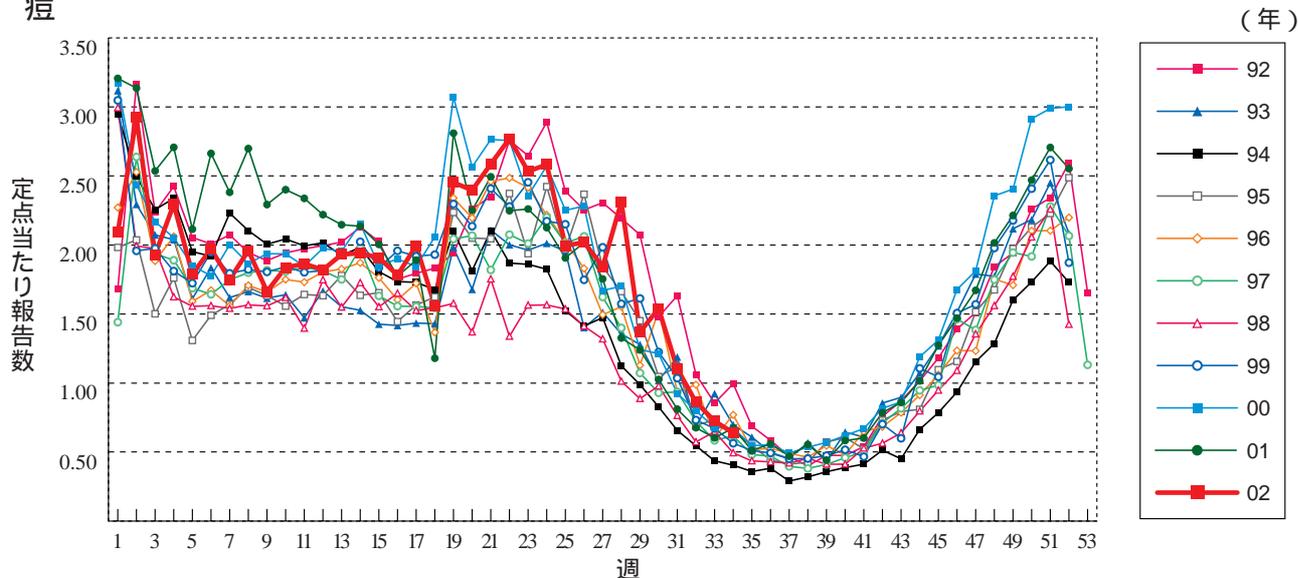
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



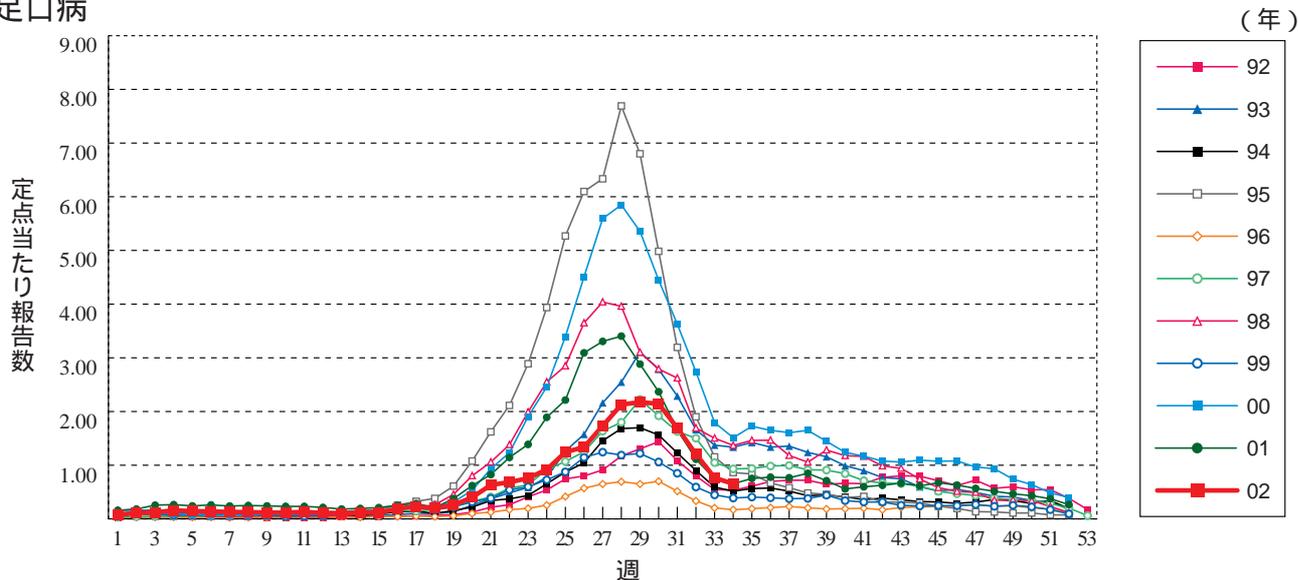
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



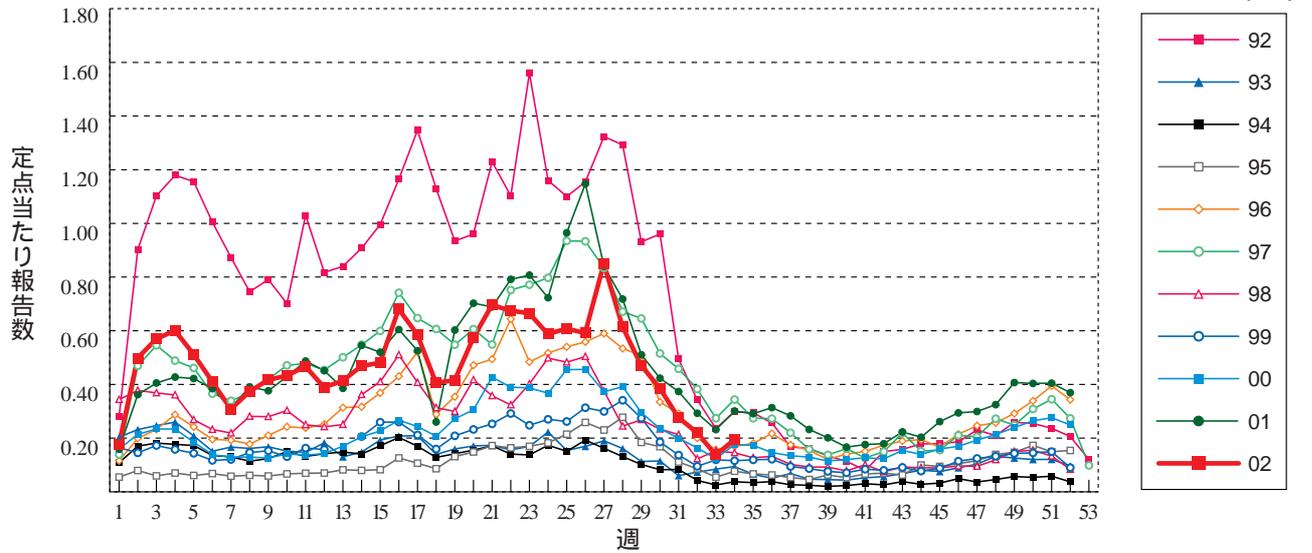
水痘



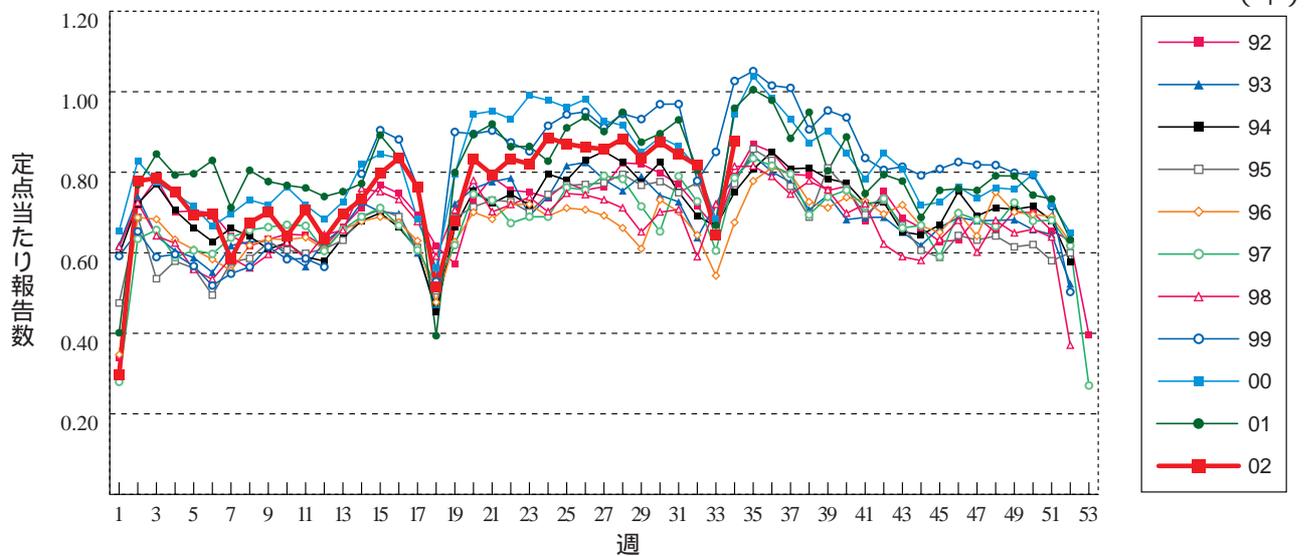
手足口病



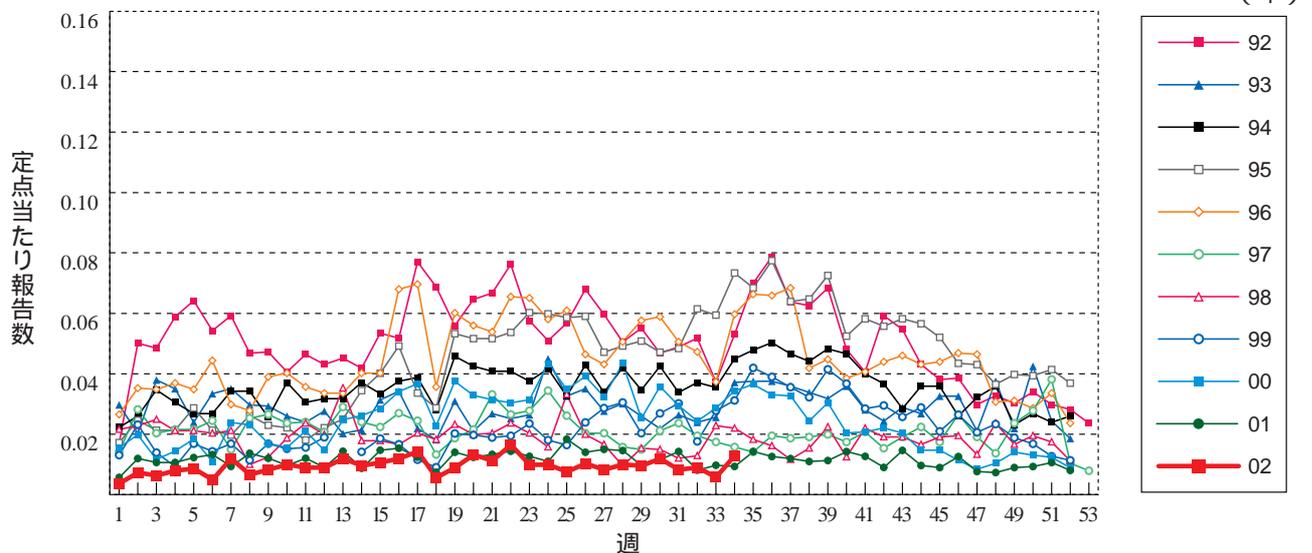
伝染性紅斑



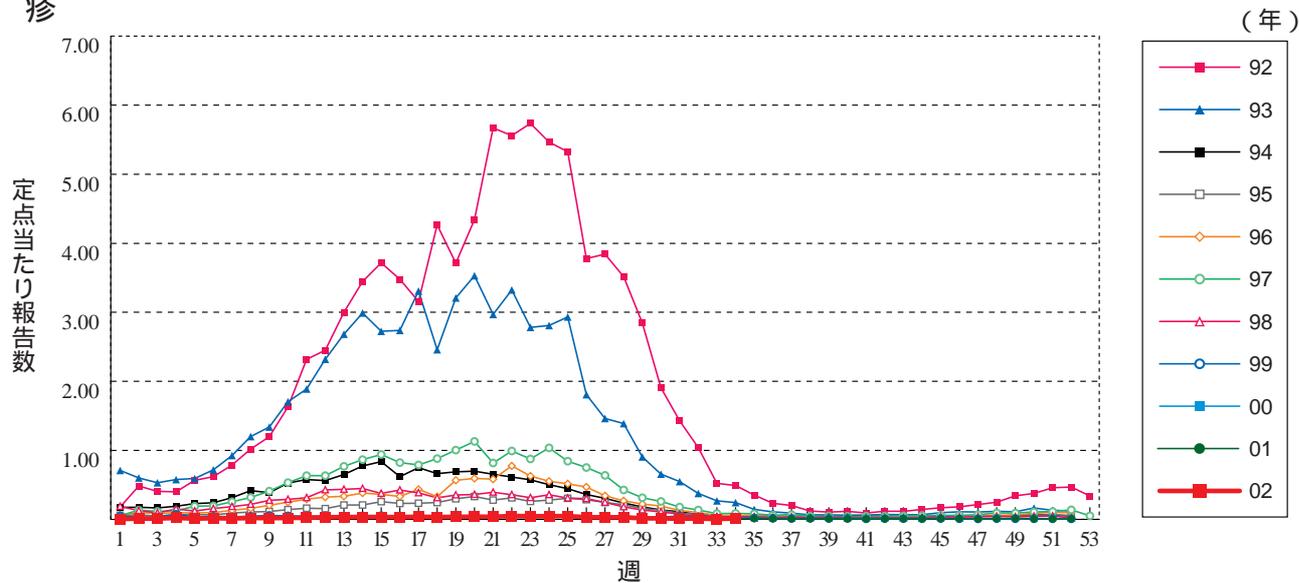
突発性発疹



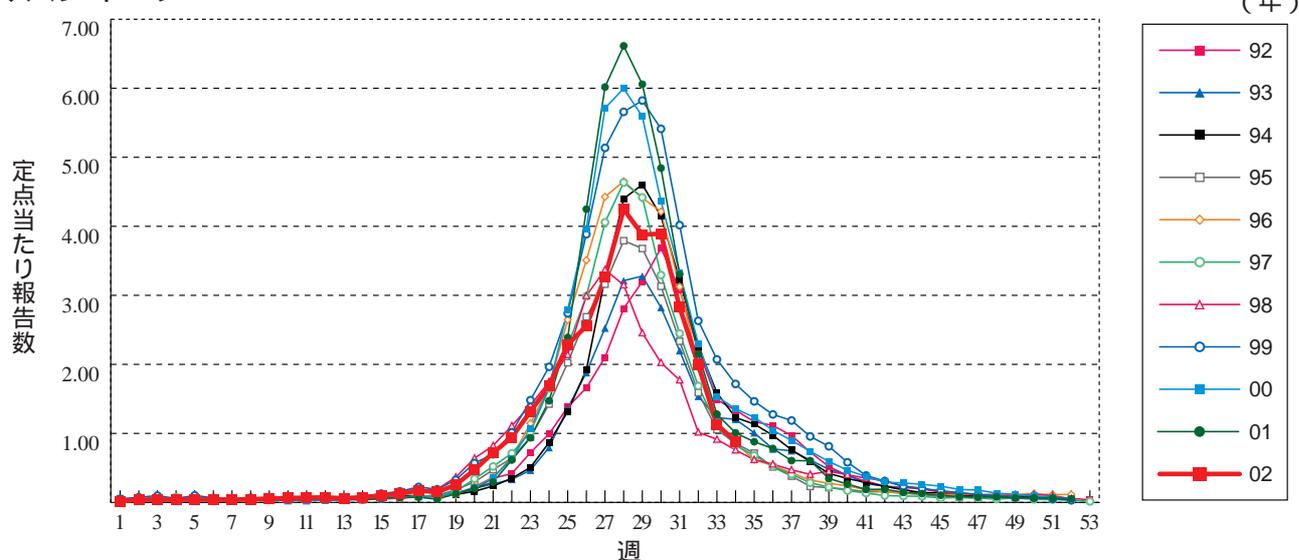
百日咳



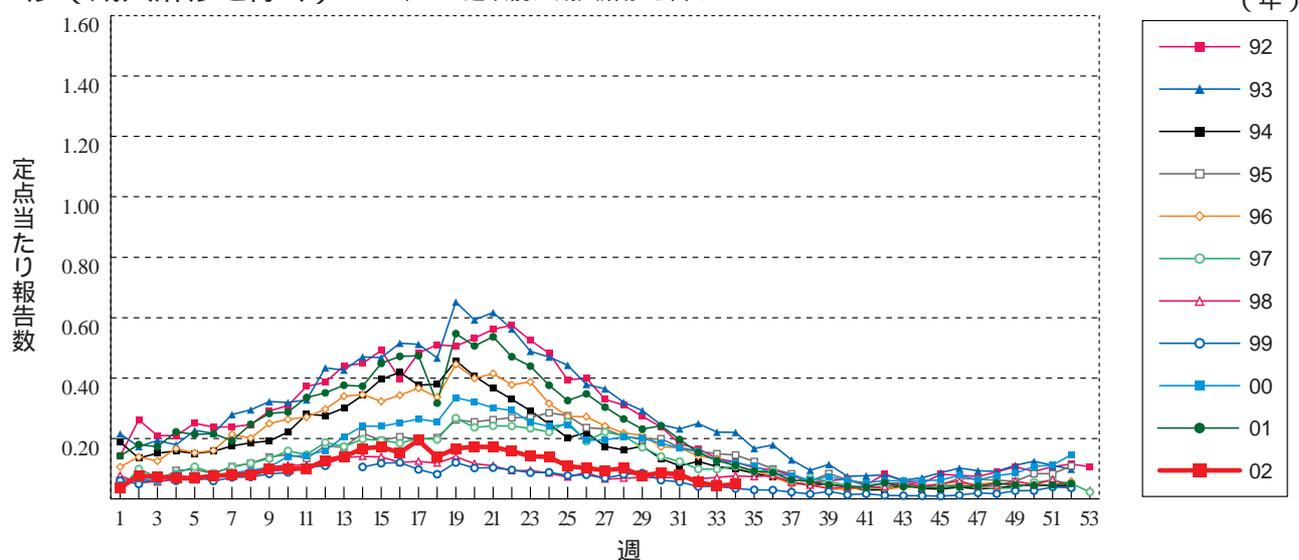
風 疹



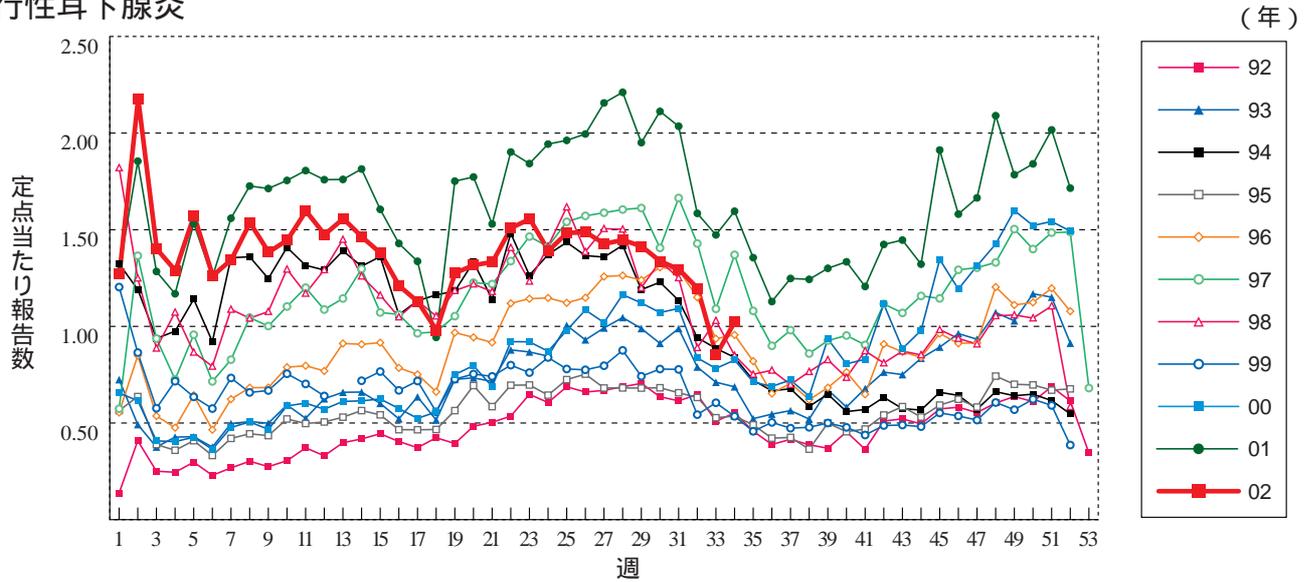
ヘルパンギーナ



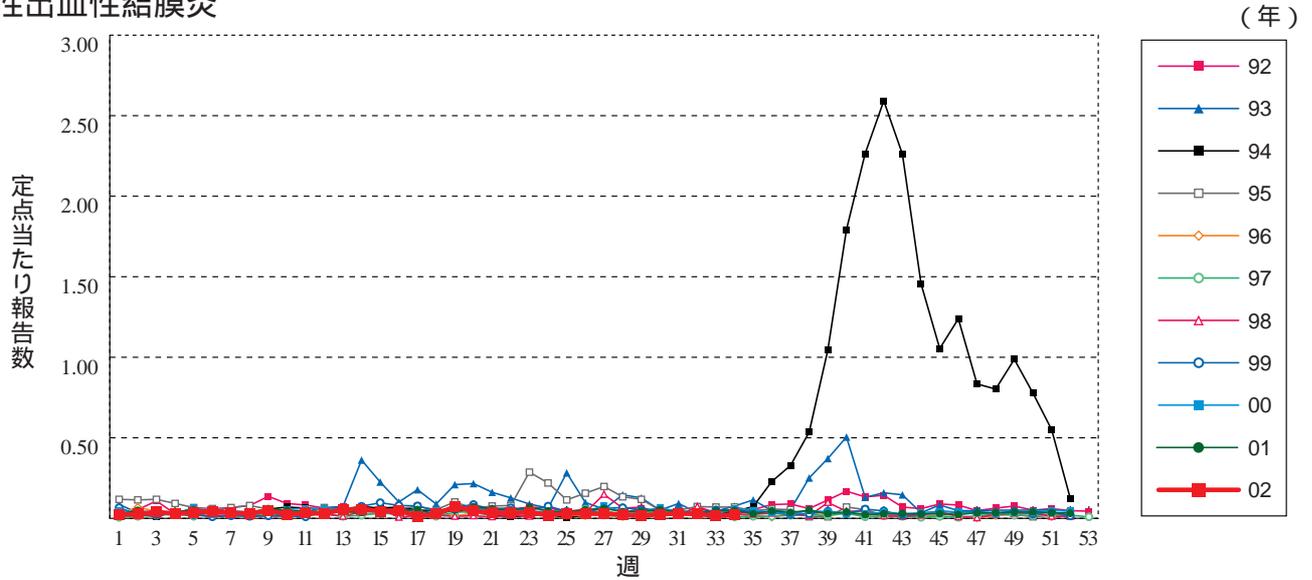
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



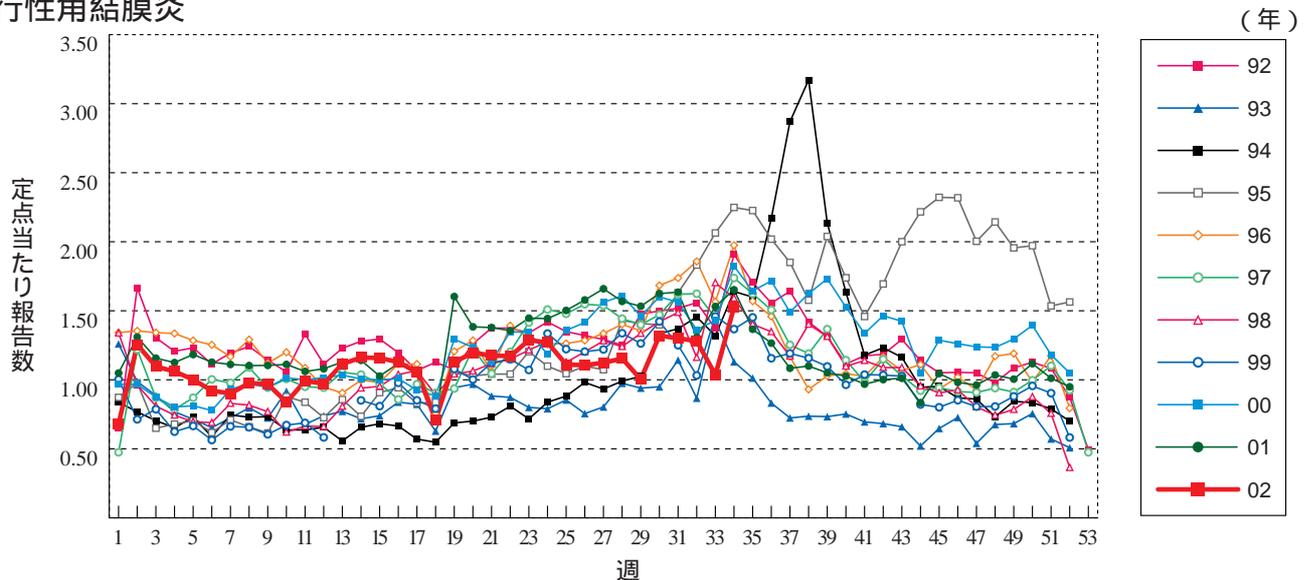
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

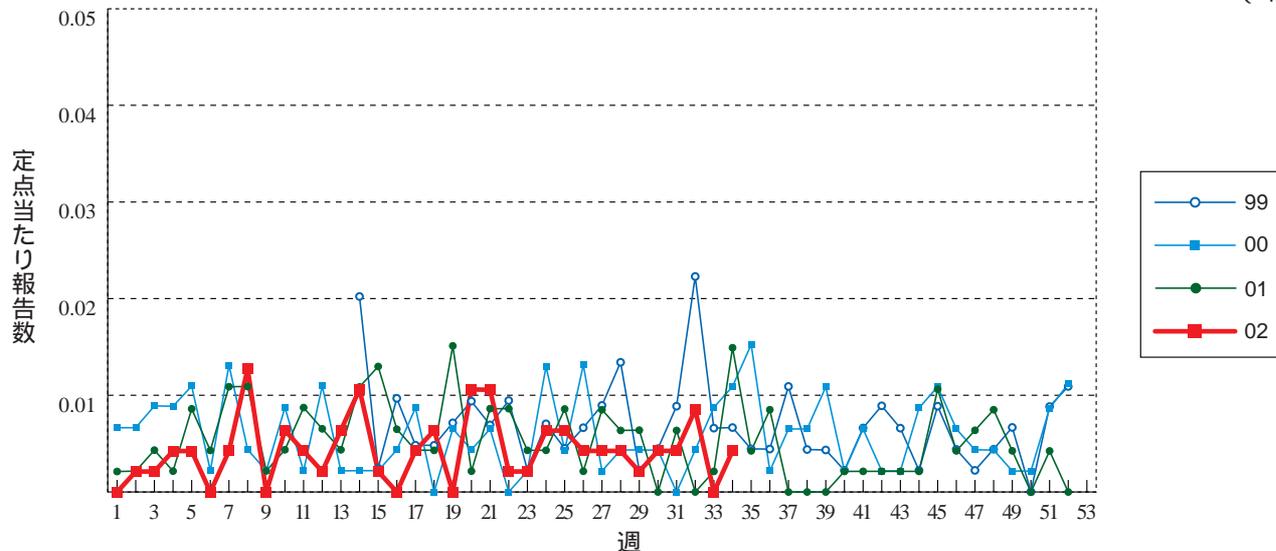


流行性角結膜炎



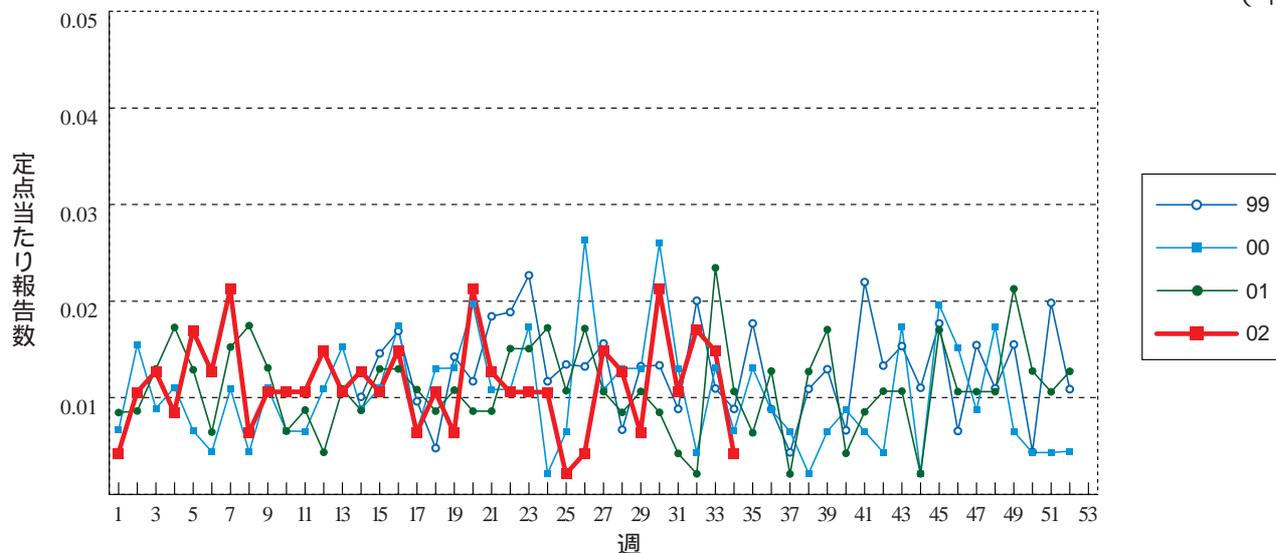
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



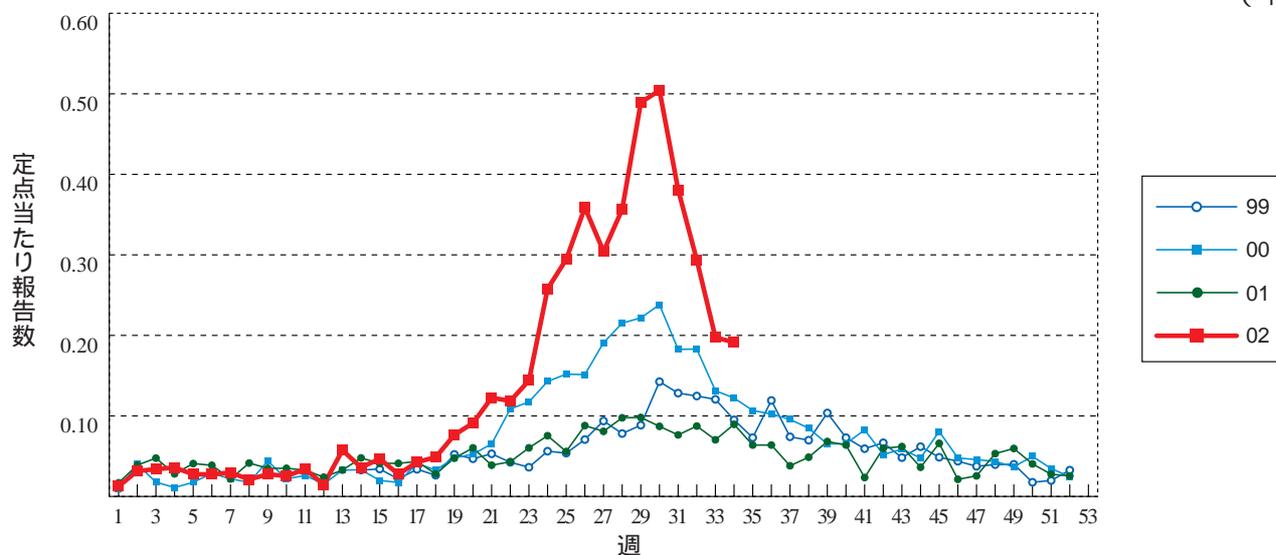
細菌性髄膜炎

(年)



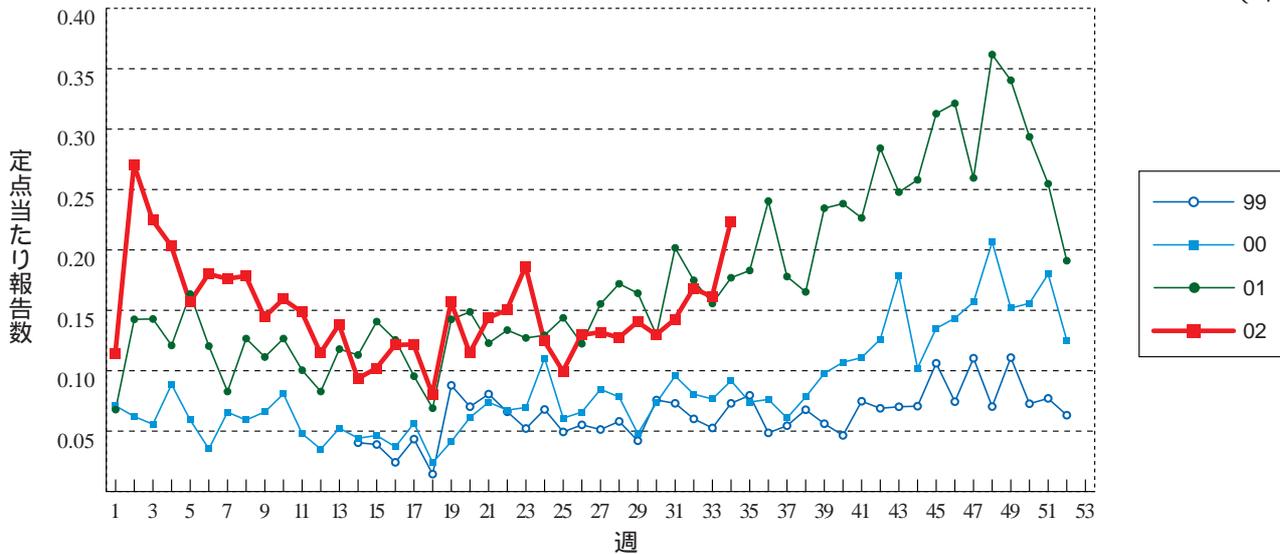
無菌性髄膜炎

(年)



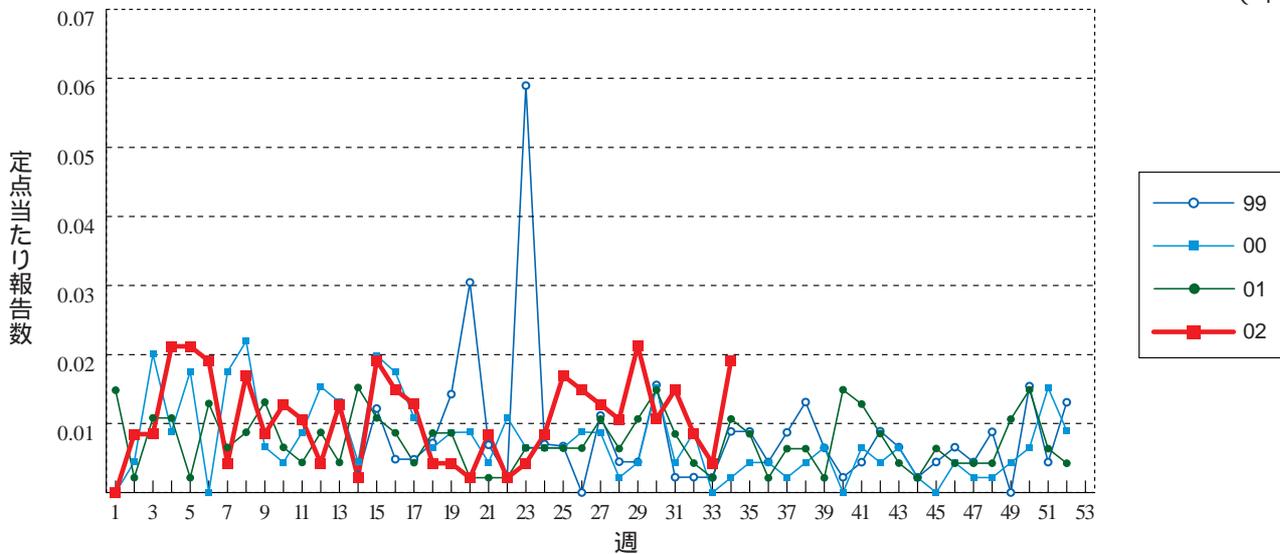
マイコプラズマ肺炎

(年)



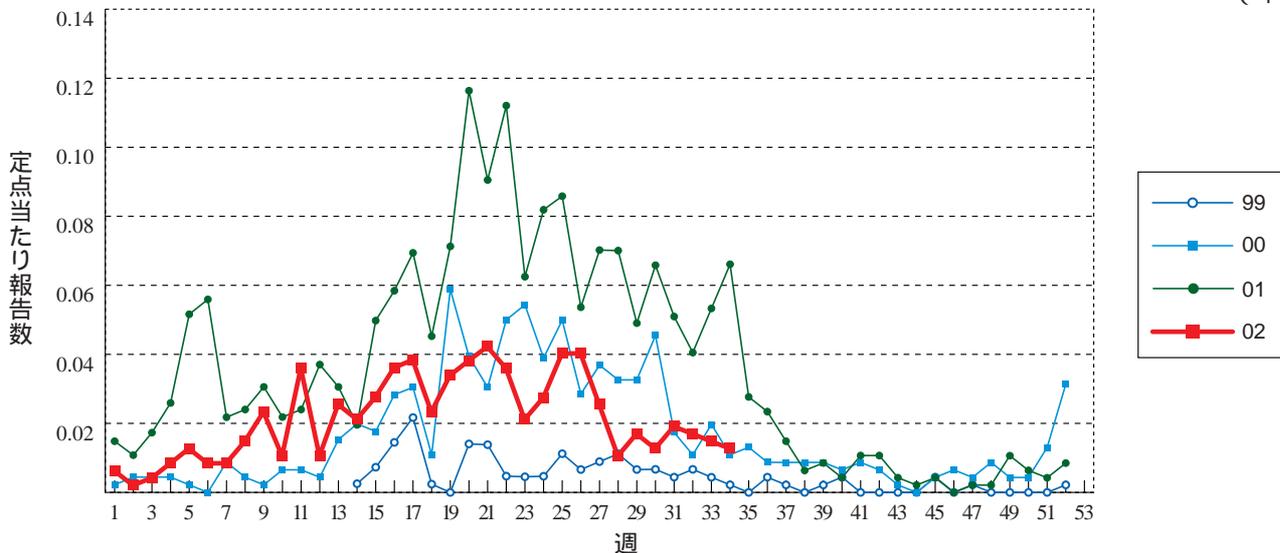
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





34週のデータ

注)表中の報告数は8月30日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	39	10	477	2	44	-	24
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	1	71	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	57	1	19	-	10
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	1	4	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	31	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	26	-	3	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	4	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年34週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	137	2253	4	292	-	6	-	-	1	46	-	-	4	698
北海道	-	-	-	-	5	91	-	13	-	5	-	-	-	3	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	4	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	2	81	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	2	50	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
秋田県	-	-	-	-	6	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山形県	-	-	-	-	2	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
福島県	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
茨城県	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	11	146	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
群馬県	-	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
埼玉県	-	-	-	-	8	49	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
千葉県	-	-	-	-	5	115	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
東京都	-	-	-	-	13	123	2	73	-	-	-	-	-	3	-	-	1	131
神奈川県	-	-	-	-	8	72	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
新潟県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	2	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	59	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	1	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	78	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
岐阜県	-	-	-	-	1	11	-	8	-	-	-	-	-	3	-	-	-	17
静岡県	-	-	-	-	4	31	1	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	8	73	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37
三重県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	8	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	42	-	10	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17
大阪府	-	-	-	-	4	159	-	43	-	-	-	-	1	4	-	-	1	48
兵庫県	-	-	-	-	8	153	-	16	-	-	-	-	-	2	-	-	-	37
奈良県	-	-	-	-	1	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
和歌山県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	2	61	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	3	32	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	15
山口県	-	-	-	-	3	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	3	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
高知県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	4	191	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	26
佐賀県	-	-	-	-	8	160	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	44	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	3	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	-	-	-	7	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年34週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	33	-	-	-	104	2	84	-	67	7	570	-	3	-	78	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	2	-	4	1	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	17	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	5	-	28	-	1	-	4	-	-
東京都	-	27	-	-	-	2	-	6	-	8	6	225	-	-	-	36	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	1	-	39	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	6	-	35	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	7	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	58	-	1	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	4	-	5	-	11	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	5	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年34週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	-	-	-	-	1	117	-	35	1	10	-	-	-	-	3	345
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
青森県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	11	-	-	-	-	-	-	-	33
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	17
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	18
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	71
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	18
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年34週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	59	-	24	-	-	-	-	-	1	-	-	2	53	1	10	8	106
北海道	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
栃木県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
東京都	-	4	-	6	-	-	-	-	1	-	-	1	17	-	1	-	10	
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2		
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	
大阪府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	9	
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
福岡県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	29
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年34週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	41	0.01	489	0.16	1005	0.33	6341	2.10	1923	0.64	1971	0.65	585	0.19	2641	0.88	39	0.01
北海道	3	0.01	11	0.08	79	0.54	175	1.21	118	0.81	163	1.12	76	0.52	100	0.69	3	0.02
青森県	1	0.02	6	0.14	9	0.21	58	1.38	45	1.07	49	1.17	29	0.69	30	0.71	1	0.02
岩手県	1	0.02	-	-	5	0.13	34	0.89	22	0.58	41	1.08	1	0.03	26	0.68	1	0.03
宮城県	-	-	8	0.14	12	0.20	147	2.49	35	0.59	72	1.22	17	0.29	53	0.90	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	9	0.26	82	2.34	13	0.37	13	0.37	4	0.11	19	0.54	-	-
山形県	-	-	-	-	8	0.27	61	2.03	39	1.30	18	0.60	8	0.27	27	0.90	-	-
福島県	-	-	1	0.02	12	0.26	92	2.00	40	0.87	43	0.93	18	0.39	34	0.74	-	-
茨城県	1	0.01	5	0.07	8	0.11	120	1.62	40	0.54	28	0.38	28	0.38	48	0.65	-	-
栃木県	-	-	8	0.17	15	0.33	62	1.35	33	0.72	12	0.26	8	0.17	42	0.91	1	0.02
群馬県	-	-	16	0.26	18	0.29	81	1.31	36	0.58	16	0.26	10	0.16	58	0.94	1	0.02
埼玉県	-	-	16	0.10	36	0.23	306	1.99	122	0.79	70	0.45	28	0.18	150	0.97	4	0.03
千葉県	-	-	6	0.05	37	0.29	178	1.40	75	0.59	35	0.28	16	0.13	103	0.81	-	-
東京都	-	-	26	0.19	19	0.14	203	1.45	58	0.41	58	0.41	10	0.07	65	0.46	1	0.01
神奈川県	1	0.00	38	0.19	43	0.21	265	1.31	81	0.40	105	0.52	30	0.15	155	0.77	2	0.01
新潟県	-	-	10	0.17	13	0.22	154	2.57	28	0.47	41	0.68	22	0.37	58	0.97	-	-
富山県	-	-	2	0.07	23	0.79	72	2.48	23	0.79	39	1.34	4	0.14	24	0.83	-	-
石川県	-	-	2	0.07	2	0.07	112	3.86	22	0.76	46	1.59	5	0.17	36	1.24	-	-
福井県	-	-	16	0.73	13	0.59	107	4.86	25	1.14	4	0.18	2	0.09	17	0.77	-	-
山梨県	-	-	-	-	7	0.28	24	0.96	4	0.16	7	0.28	1	0.04	16	0.64	-	-
長野県	-	-	8	0.15	25	0.46	137	2.54	53	0.98	28	0.52	26	0.48	46	0.85	-	-
岐阜県	-	-	26	0.55	12	0.26	28	0.60	48	1.02	49	1.04	8	0.17	44	0.94	1	0.02
静岡県	-	-	20	0.23	35	0.41	205	2.38	40	0.47	46	0.53	20	0.23	97	1.13	-	-
愛知県	-	-	18	0.10	60	0.33	313	1.72	108	0.59	113	0.62	34	0.19	140	0.77	2	0.01
三重県	-	-	4	0.09	12	0.27	164	3.64	41	0.91	36	0.80	15	0.33	49	1.09	-	-
滋賀県	2	0.04	12	0.38	3	0.09	28	0.88	15	0.47	25	0.78	2	0.06	25	0.78	-	-
京都府	1	0.01	12	0.16	25	0.33	200	2.63	37	0.49	27	0.36	9	0.12	51	0.67	1	0.01
大阪府	-	-	24	0.12	71	0.36	309	1.58	112	0.57	76	0.39	22	0.11	130	0.67	5	0.03
兵庫県	1	0.01	41	0.32	29	0.23	390	3.05	111	0.87	112	0.88	18	0.14	115	0.90	1	0.01
奈良県	-	-	2	0.06	3	0.09	47	1.34	14	0.40	30	0.86	7	0.20	24	0.69	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	3	0.10	39	1.26	20	0.65	53	1.71	12	0.39	38	1.23	1	0.03
鳥取県	-	-	2	0.11	8	0.42	94	4.95	8	0.42	46	2.42	16	0.84	27	1.42	-	-
島根県	-	-	1	0.04	6	0.26	62	2.70	9	0.39	5	0.22	3	0.13	17	0.74	-	-
岡山県	-	-	5	0.11	8	0.18	79	1.80	26	0.59	79	1.80	5	0.11	30	0.68	2	0.05
広島県	-	-	24	0.32	34	0.45	194	2.59	41	0.55	102	1.36	2	0.03	87	1.16	4	0.05
山口県	2	0.03	2	0.04	29	0.59	173	3.53	26	0.53	23	0.47	6	0.12	68	1.39	-	-
徳島県	-	-	-	-	11	0.48	43	1.87	29	1.26	31	1.35	4	0.17	24	1.04	1	0.04
香川県	-	-	1	0.03	5	0.16	45	1.41	20	0.63	31	0.97	3	0.09	28	0.88	-	-
愛媛県	-	-	6	0.15	19	0.49	134	3.44	30	0.77	44	1.13	8	0.21	42	1.08	-	-
高知県	-	-	6	0.19	1	0.03	40	1.29	12	0.39	26	0.84	5	0.16	23	0.74	-	-
福岡県	-	-	37	0.31	91	0.76	410	3.42	54	0.45	37	0.31	9	0.08	156	1.30	4	0.03
佐賀県	-	-	16	0.70	22	0.96	38	1.65	23	1.00	4	0.17	2	0.09	34	1.48	-	-
長崎県	4	0.06	1	0.02	18	0.41	95	2.16	9	0.20	4	0.09	4	0.09	27	0.61	-	-
熊本県	-	-	19	0.39	32	0.65	154	3.14	47	0.96	6	0.12	16	0.33	76	1.55	-	-
大分県	7	0.12	5	0.14	20	0.56	162	4.50	26	0.72	4	0.11	-	-	42	1.17	-	-
宮崎県	-	-	13	0.35	25	0.68	200	5.41	43	1.16	24	0.65	8	0.22	55	1.49	-	-
鹿児島県	9	0.09	8	0.13	28	0.47	164	2.73	29	0.48	16	0.27	2	0.03	68	1.13	3	0.05
沖縄県	8	0.14	1	0.03	2	0.06	61	1.79	33	0.97	34	1.00	2	0.06	17	0.50	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年34週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	2671	0.89	145	0.05	3090	1.03	14	0.02	963	1.53	2	0.00	2	0.00	90	0.19
北海道	4	0.03	168	1.16	-	-	95	0.66	-	-	30	1.03	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	103	2.45	3	0.07	73	1.74	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	45	1.18	-	-	114	3.00	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	57	0.97	-	-	172	2.92	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	3	0.09	50	1.43	1	0.03	80	2.29	-	-	25	3.57	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	21	0.70	-	-	62	2.07	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	66	1.43	3	0.07	104	2.26	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	21	0.28	4	0.05	26	0.35	-	-	70	4.38	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	-	-	20	0.43	-	-	101	2.20	2	0.17	11	0.92	-	-	-	-	4	0.57
群馬県	-	-	64	1.03	-	-	77	1.24	1	0.07	125	8.93	-	-	-	-	2	0.20
埼玉県	1	0.01	92	0.60	10	0.06	98	0.64	-	-	72	2.00	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	50	0.39	7	0.06	96	0.76	2	0.06	51	1.50	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	74	0.53	12	0.09	54	0.39	-	-	19	1.46	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	103	0.51	4	0.02	101	0.50	-	-	40	0.98	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	1	0.02	62	1.03	-	-	103	1.72	-	-	9	1.00	-	-	-	-	16	1.33
富山県	-	-	39	1.34	-	-	33	1.14	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	12	0.41	-	-	20	0.69	-	-	3	0.43	-	-	-	-	3	0.60
福井県	1	0.05	9	0.41	-	-	18	0.82	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	20	0.80	-	-	16	0.64	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	90	1.67	5	0.09	52	0.96	-	-	16	1.60	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	106	2.26	12	0.26	32	0.68	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	67	0.78	7	0.08	86	1.00	-	-	12	0.60	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	-	-	126	0.69	25	0.14	104	0.57	1	0.03	27	0.77	-	-	1	0.08	2	0.15
三重県	-	-	107	2.38	-	-	37	0.82	-	-	6	0.50	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	54	1.69	1	0.03	31	0.97	-	-	10	1.43	-	-	-	-	4	0.57
京都府	1	0.01	73	0.96	-	-	45	0.59	1	0.06	8	0.44	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	2	0.01	154	0.79	20	0.10	91	0.47	3	0.06	73	1.40	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	110	0.86	9	0.07	146	1.14	1	0.03	31	0.86	-	-	-	-	2	0.15
奈良県	-	-	18	0.51	-	-	36	1.03	-	-	4	0.44	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	45	1.45	1	0.03	48	1.55	-	-	16	4.00	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	11	0.58	-	-	42	2.21	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	5	0.22	1	0.04	19	0.83	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.25
岡山県	2	0.05	18	0.41	2	0.05	85	1.93	-	-	25	3.13	-	-	-	-	8	2.00
広島県	1	0.01	41	0.55	1	0.01	97	1.29	-	-	35	1.75	1	0.05	-	-	3	0.14
山口県	-	-	44	0.90	4	0.08	64	1.31	-	-	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	32	1.39	1	0.04	24	1.04	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	17	0.53	-	-	21	0.66	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	53	1.36	-	-	35	0.90	-	-	16	2.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	73	2.35	-	-	16	0.52	-	-	10	3.33	1	0.13	1	0.13	-	-
福岡県	4	0.03	100	0.83	1	0.01	111	0.93	-	-	71	2.73	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	31	1.35	-	-	9	2.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	10	0.23	1	0.02	84	1.91	-	-	16	2.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	54	1.10	-	-	12	0.24	-	-	10	1.11	-	-	-	-	11	0.73
大分県	-	-	47	1.31	3	0.08	82	2.28	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	81	2.19	5	0.14	116	3.14	1	0.25	12	3.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.05	50	0.83	1	0.02	65	1.08	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	5	0.15	1	0.03	35	1.03	1	0.10	17	1.70	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年34週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	105	0.22	9	0.02	6	0.01
北海道	3	0.13	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	3	0.25	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	5	0.38	1	0.08	2	0.15
東京都	4	0.17	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	11	0.92	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	11	1.10	-	-	-	-
長野県	2	0.18	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	5	0.50	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	2	0.29	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	8	0.53	-	-	-	-
兵庫県	6	0.46	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	1	0.25	-	-	-	-
広島県	7	0.33	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	6	0.50	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第34号 平成14年9月6日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。